

令和7年 5月26日

派遣成果報告書

有田市議会議長 様

議員氏名 嶋田 英

有田市議会の議員派遣に関する要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

研修名	予算と決算における基礎知識
研修期間	令和7年5月16日（金）
研修場所	1 全国市町村国際文化研修所（大津） 2 市町村職員中央研修所（千葉） 3 地方議員研究会（ ） ④ その他（株式会社 廣瀬行政研究所）
研修の成果	別紙のとおり

※ 「研修の成果」は研修内容や所感などを具体的に別葉に作成して添付してください。

※ 研修先から交付される「終了証」等を添付してください。

別紙

日時・場所

5月16日（金）10:00～17:00 東京都内

研修内容

「予算・決算の基礎知識」

講師：廣瀬行政研究所 代表取締役 廣瀬和彦（元全国市議会議長会法制部長）

概要

予算・決算の基礎知識について、以下の内容を学んだ。

- 予算書・決算書の構成や読み方
- 歳入・歳出の分類、地方交付税の仕組み
- 財政分析指標（実質収支比率、将来負担比率など）の活用

所感

今回の研修では、予算と決算の基本的な知識を体系的に学ぶことができ、大変有意義な機会となりました。特に、普段の議会活動の中では見落としがちな「なぜこの数値になるのか」という根本的な考え方や、予算書・決算書の見方を改めて整理することができ、とても印象に残りました。

午前中は、予算の仕組みや意義、予算書の構成や歳入・歳出の項目など、基礎的な内容を学びました。予算の中身を正しく読み取り、審査に活かしていく視点は、議員にとって必要不可欠だと感じました。また、地方交付税のしくみや計算の流れについても、分かりやすく説明があり、理解がより深まりました。

午後は、決算についての内容で、決算書の作り方や歳出の種類、決算分析に使われる指標（実質収支比率・将来負担比率・経常収支比率など）の意味を学びました。特に、有田市の資料を使って具体的に説明してもらえたことで、実際の仕事とのつながりを強く感じました。こうして、自分が普段見ている数字や資料が、市の政策を考える上でとても重要な役割を果たしていると改めて認識しました。

廣瀬講師の説明は、自治体の現場に合った具体的な事例を交えていて、とてもわかりやすかったです。理論だけでなく、実際にどう活かすかという視点を大事にされていて、普段の議会活動にもすぐに役立つ内容だと感じました。特に、議会の中で感情的になりがちな場面でも、数字やデータに基づいて冷静に判断することの大切さを強く感じました。

この研修を通して、予算や決算の議論は単なる数字のやり取りではなく、市民の暮らしや将来への責任に深く関わっていることを改めて実感しました。今後は、こうした基本的な知識をしっかりと押さえたうえで、より具体的に効果的な政策提案ができるように努めていきたいと思えます。